

昭和54年度（54年4月1日～55年3月31日）において
学外に発表された論文ならびに講演

発 表 者	題 目	雑誌名又は講演会名	発 表 年 月
中 西 賢 二 } 福 井 村 村 } 岡 村 俊 一 } 田 中 秀 穂 } 岡 村 俊 一 } 田 中 秀 穂 } 福 井 泰 好 } 布 村 成 具 } 末 吉 秀 一 } 末 永 勝 郎 } 末 吉 秀 一 } 森 永 秋 登 } 末 永 秋 登 } 松 村 博 久 } 石 川 正 義 } 松 村 博 久 } 井 手 英 夫 } 松 村 博 久 } 野 崎 勉 } 八 田 圭 爾 } 佐 藤 典 秀 } 松 村 博 久 } 野 崎 勉 } 八 田 圭 爾 } 中 島 正 弘 } 野 崎 正 弘 } 中 島 繁 一 } 是 枝 賢 一 } 中 島 繁 一 } 是 枝 賢 一 } 中 島 繁 一 } 是 枝 賢 一 }	<p>熱間圧延動力計算の数式モデル</p> <p>熱間変形抵抗の推算</p> <p>円筒重研削における研削要因および数学モデル第一報—S45C, SCM3に対する19A砥石の場合—</p> <p>管端スピニング加工における銅および銅合金の成形性</p> <p>積算塑性ひずみ損傷による冷間加工の疲労き裂伝ば速度に及ぼす影響の検討</p> <p>亜共析鋼の黒鉛化現象とこれによぼす合金元素の影響</p> <p>亜共析合金鋼の黒鉛析出におよぼす恒温変態処理の影響</p> <p>長方形管内気液二相流の研究（傾斜管内の気体スラグ速度と気体体積率）</p> <p>気液二相流の流動と圧力損失</p> <p>国分地域の潜在エネルギー賦存状況と開発可能性について</p> <p>有限幅ノズルから流出する噴流の側壁付着効果（第2報初期乱れ強さの影響）</p> <p>二次元噴流の傾斜壁への付着</p> <p>初期乱れ強さが小さい場合の二次元付着流れ</p> <p>研削抵抗と研削温度に関する一考察</p> <p>研削温度についての一考察</p> <p>水中放電加工に関する研究—中高水圧下の放電現象について—</p>	<p>第30回塑性加工連合講演会</p> <p>第44回日本鉄鋼協会日本金属学会九州支部講演討論会</p> <p>精機学会重研削専門委員会</p> <p>第19回伸銅技術研究会</p> <p>材料 Vol. 28, No309, pp.491~496</p> <p>日本金属学会誌43巻4号 p.p. 333~339</p> <p>日本金属学会第85回名古屋大会</p> <p>日本機械学会九州支部大分地方講演会</p> <p>流体工学 Vol. 15, No10, pp.21~31</p> <p>ローカル・エネルギー・システムのケース・スタディ IAE-C7907, pp.56~94</p> <p>日本機械学会第57期全国大会講演会</p> <p>第5回関西水力研究会</p> <p>鹿児島工業高等専門学校研究報告第14号 pp.19~24</p> <p>精機学会重研削専門委員会研削発表会</p> <p>精機学会秋季講演会</p> <p>精機学会九州支部熊本地方講演会</p>	<p>昭和54年11月</p> <p>昭和54年11月</p> <p>昭和54年5月</p> <p>昭和54年11月</p> <p>昭和54年6月</p> <p>昭和54年4月</p> <p>昭和54年10月</p> <p>昭和54年5月</p> <p>昭和54年10月</p> <p>昭和55年3月</p> <p>昭和54年10月</p> <p>昭和54年12月</p> <p>昭和55年3月</p> <p>昭和54年5月</p> <p>昭和54年10月</p> <p>昭和54年11月</p>

1) 長岡技術科学大学 2) 東京工業大学精密工学研究所 3) 鹿児島大学大学院工学研究科生 4) 中部工業大学
5) 九州松下電器株式会社 6) 鹿児島工業高等専門学校

発 表 者	題 目	雑誌名又は講演会名	発 表 催 年 月
高上 田 茂 夫 } 弘 田 隆 三 } 入 佐 和 則 } 入 田 中 幸 } 佐 俊 幸 } 高 田 茂 夫 } 上 田 隆 三 } 実 成 義 孝 } 入 佐 俊 幸 }	自動式誘導発電機の発生領域に関する解析	電気学会全国大会	昭和54年4月
入 佐 俊 幸 } 高 田 茂 夫 } 上 田 隆 三 }	単相電源による三相誘導電動機の運転方式の一例について	電気四学会九州支部連合大会	昭和54年10月
実 成 義 孝 } 入 佐 俊 幸 }	三相回路の不均衡電流を平衡化するためのベクトル図解法	電気四学会九州支部連合大会	昭和54年10月
高上 田 茂 夫 } 原 田 田 隆 三 } 入 田 信 康 } 佐 俊 幸 }	自動式誘導発電機の確立電圧に対する軌道安定解析	電気四学会九州支部連合大会	昭和54年10月
高上 田 茂 夫 } 園 田 隆 三 } 大 田 敏 勝 } 入 佐 俊 幸 }	自動式三相誘導発電機の電圧変動補償制御	電気四学会九州支部連合大会	昭和54年10月
柚 木 謙 一 } 川 烟 清 一 } 五 嵐 寿 }	音の回折の測定 (矩形開口の場合)	昭和55年度電子通信学会 総合全国大会	昭和55年3月
久 米 国 幹 } 和 田 正 義 } 中 島 政 彦 }	コンクリートのき裂に関する基礎的研究(屋外でのL27多要因直交配列実験)	日本建築学会九州支部研究報告	昭和55年2月
徳 富 久 二 } 和 田 正 義 }	シラスの強度と変形に関する実験	日本建築学会九州支部研究報告	昭和55年2月
徳 広 育 夫 } 小 野 正 行 }	有開口耐震壁の弾性実験解析(その1, 壁体に相似な中央開口の光弾性実験による壁柱のせん断力負担割合)	第2回日本光弾性学会	昭和54年6月
徳 広 育 夫 } 佐 木 昭 正 } 小 野 正 行 }	有開口耐震壁の開口隅角部の付加斜張力	昭和54年度日本建築学会秋期大会	昭和54年9月
徳 広 育 夫 } 佐 木 昭 夫 }	たれ壁, 腰壁付柱の剛域に関する研究	日本建築学会九州支部研究報告	昭和55年2月
徳 広 育 夫 } 三 谷 勲 他 }	周辺架構の構造形式が異なる耐震壁に関する実験的研究(RC, SRC架構の場合の比較—その1. 実験計画とひび割れ性状)	日本建築学会九州支部研究報告	昭和55年2月
徳 広 育 夫 } 三 谷 勲 他 }	周辺架構の構造形式が異なる耐震壁に関する実験的研究(RC, SRC架構の場合の比較—その2. 変形性状)	日本建築学会九州支部研究報告	昭和55年2月
徳 広 育 夫 } 三 谷 勲 他 }	周辺架構の構造形式が異なる耐震壁に関する実験的研究(RC, SRC架構の場合の比較—その3. ひずみ測定結果に基づく考察)	日本建築学会九州支部研究報告	昭和55年2月
徳 広 育 夫 } 皆 川 洋 一 } 久 石 久 広 }	ゴム, 合成樹脂などを用いた弾性実験についての考察	日本建築学会九州支部研究報告	昭和55年2月

発 表 者	題 目	雑 誌 名 又 は 講 演 会 名	発 表 年 月 開 催
三 谷 勲 } 枚 野 稔 ¹¹⁾ 松 井 千 ¹¹⁾	H形鋼柱の局部座屈後の変形性状 その1. 実験計画および実験結果	日本建築学会論文報告集 第281号, pp.71~80	昭和54年7月
三 谷 勲 } 枚 野 稔 ¹¹⁾ 松 井 千 ¹¹⁾	H形鋼柱の局部座屈後の変形性状 その2. 荷重-変形関係	日本建築学会論文報告集 第286号, pp.23~28	昭和54年12月
三 谷 勲 } 枚 野 稔 ¹¹⁾ 松 井 千 ¹¹⁾	H形鋼柱の局部座屈後の変形性状 その3. 単調載荷時と繰返し載荷時 との塑性変形性状の対応性及びエ ネルギーの吸収能力	日本建築学会論文報告集 第288号, pp.49~59	昭和55年2月
立 川 正 夫	強風による平板の飛散について	昭和54年度非定常空気力学懇談会 第26回風に関するシンポジウム	昭和54年7月 昭和54年10月
立 川 正 夫 } 立 福 山 正 雅 } 立 福 山 正 弘 }	強風による平板の飛散経路につい て その4.	日本建築学会九州支部研究報告	昭和55年2月
立 川 正 夫	台風による飛散物災害について	自然災害科学解析研究昭和54年度 西部地区部会	昭和55年1月
皆 川 洋 一	非線形自由振動	日本建築学会論文報告集 No278, pp.9~14	昭和54年4月
皆 川 洋 一	非線形振動数値解析	日本建築学会論文報告集 No279, pp.21~27	昭和54年5月
皆 川 洋 一	解の安定性と近似解法	日本建築学会論文報告集 No280, pp.11~17	昭和54年6月
皆 川 洋 一	回転シェルの非線形運動方程式	日本建築学会論文報告集 No281, pp.21~30	昭和54年7月
皆 川 洋 一	回転シェルにおける非線形振動	日本建築学会論文報告集 No282, pp.107~112	昭和54年8月
皆 川 洋 一	周期外力を受ける弾性体の動的不 安定後の挙動	第29回応用力学連合講演会	昭和54年11月
皆 川 洋 一	高自由度二次元要素を用いた有限 要素法による壁体の解析	日本建築学会九州支部研究報告	昭和55年2月
内 田 茂	閉空間に対する感覚量に関する実 験的研究 1.	日本建築学会論文報告集 第282号, pp.113~122	昭和54年8月
内 田 茂	閉空間に対する感覚量に関する実 験的研究 2.	日本建築学会論文報告集 第285号, pp.117~125	昭和54年11月
内 田 茂	空間欠損の視覚的効果に関する基 礎的研究 (その4. 調整法による閉 空間の見かけの容積)	昭和54年度日本建築学会秋期大会	昭和54年9月
内 田 茂	喫茶店における座席の選択行動に 関する研究	日本建築学会九州支部研究報告	昭和55年2月
山 田 龍 雄 } 山 田 良 島 昭 }	低密度地域の居住状況に関する研 究 その2	日本建築学会九州支部研究報告	昭和55年2月
加 藤 康 } 田 藤 英 昭 ¹¹⁾ 山 良 島 昭 雄 }	低密度地域の防火と安全性に関す る研究 (密集地の調査・研究)	日本建築学会九州支部研究報告	昭和55年2月

発表者	題 目	雑誌名又は講演会名	発表 開催年月
森本 啓資 ³⁾ 田 良 島 昭	特別養護老人ホームにおける基礎的平面研究 (寮母動線による平面分析)	日本建築学会九州支部研究報告	昭和55年2月
小山田 善次郎	鹿児島市をとりまく交通事情の調査研究	日本建築学会九州支部研究報告	昭和55年2月
小山田 善次郎 佐藤 嘉 恭	都市景観研究のための基礎的研究	日本建築学会九州支部研究報告	昭和55年2月
伊藤 行	鹿児島県立博物館	日本建築学会九州支部研究報告	昭和55年2月
伊藤 行 迫 順 一	鹿児島刑務所について	日本建築学会九州支部研究報告	昭和55年2月
池畑 成 男 ¹²⁾ 赤 坂 裕	月平均気象データの推定 (その1. 外気温)	昭和54年度日本建築学会秋期大会	昭和54年9月
赤 坂 裕 池畑 成 男 ¹²⁾	月平均気象データの推定 (その2. 水蒸気圧)	昭和54年度日本建築学会秋期大会	昭和54年9月
小井出 九州男 ¹²⁾ 赤池 成 男 ¹²⁾ 田 中 忠 忠 ¹²⁾	桜島火山活動による降灰と風向風速及び大気透過率の関係について	日本建築学会九州支部研究報告	昭和55年2月
池畑 成 男 ¹²⁾ 赤 坂 裕	気温年変動及び日変動に関する統計的研究	日本建築学会九州支部研究報告	昭和55年2月
赤 坂 裕	気温日変動の数値計算	日本建築学会九州支部研究報告	昭和55年2月
田 中 忠 忠 ¹²⁾ 赤 坂 裕	太陽熱集熱に関する実験的研究	日本建築学会九州支部研究報告	昭和55年2月
赤 坂 裕	都市気象データの長期的変動特性と相関	空気調和衛生工学会論文集 No12, pp.81~92	昭和55年2月
黒木 荘一郎	壁体の遮音性能におよぼす下地材の影響に関する実験的研究	日本建築学会九州支部研究報告	昭和55年2月
福島 重安 雄 ¹⁾ 大川 欣庫 弘 ¹³⁾	フェロシリコン製造副産物シリカの炭素還元法による窒化物合成	日本化学会第40秋季年会	昭和54年10月
島田 欣安 二雄 ¹⁾ 福野 元浩 一 郎 ³⁾	シラス-粘土系凝結体	昭和54年度窯業協会九州支部秋季研究発表会	昭和54年11月
山宮 健 一 ¹⁾ 前竹 下内 之滋 雄 ¹⁾ 下 寿 雄	EDTA-ビス(N, N-ジアルキルアミド)キレート界面活性剤の合成とその界面活性	油化学, 28巻8号, pp.552~556	昭和54年8月
分前 部 泉 雄 ³⁾ 竹 下 寿 雄	EDTA-モノエステルキレート界面活性剤の合成とその性能	日本化学会第40秋季年会	昭和54年9月
竹 下 寿 雄 前 下 寿 雄	鹿児島市および桜島の大気汚染(桜島降灰)調査(第1報)昭和53年度調査	第20回大気汚染学会	昭和54年11月
竹 下 寿 雄 前 下 寿 雄	有機ヒ素化合物の代謝(総説)	油化学, 29巻2号, pp.75~81	昭和55年2月

3) 元鹿児島大学大学院工学研究科生 12) 鹿児島大学大学院工学研究科生 13) 元鹿児島大学工学部学生

発 表 者	題 目	雑誌名又は講演会名	発 表 年・月
I.Ueda ¹⁴⁾ K.Somekawa S.Kumamoto T.matsuo ¹¹⁾	Structure of 1,2,3,4-tetrahydro-1-methyl-2-oxo-3-azocine-carbonitrile	Acta Crystallography, B35 , pp.778~780	昭和54年 4 月
染 川 賢 一 植 村 寿 子 下 茂 元 限 元 実 忠 染 川 賢 一 下 茂 元 忠 古 城 賢 一 ³⁾	2-ピリドンおよびN-メチル-2-ピリドンとN-置換マレイミドとの反応	日本化学会誌, 1979 , pp.1071~1078	昭和54年 8 月
限 元 実 忠 染 川 賢 一 下 茂 元 忠 古 城 賢 一 ³⁾	2-ピリドンを用いる光環化付加合成	日本化学会第40秋季年会	昭和54年10月
限 元 実 忠 染 川 賢 一 下 茂 元 忠 佐 藤 光 範 ¹²⁾	クマリン酸メチルとエチルビニルエーテルとの熱および光反応	日本化学会第40秋季年会	昭和54年10月
限 元 実 忠 染 川 賢 一 江 村 賢 雄 ¹²⁾	チミンとクロロエチレンとの光化学反応	日本化学会第40秋季年会	昭和54年10月
植 村 寿 子 染 川 賢 一 限 元 忠	Na-P 型シラスゼオライトによる重金属イオンの吸着・脱着	日本化学会九州・中国四国支部合同大会	昭和54年11月
K.Somekawa S.Kumamoto T.Matsuo ¹¹⁾ I.Ueda ¹⁴⁾	¹ H NMR Spectra of 1-Alkyl-1,2,3,4-tetrahydro-2-oxo-3-azocinecarboxylic acid Derivatives and Their Analogues	Tetrahedron, 36 , pp. 81~85	昭和55年 1 月
碓 手 泰 醇 雄	オルダーショー型蒸留カラムにおける微量成分の段効率	化学工学協会第44年会	昭和54年 4 月
碓 手 泰 醇 雄 丸 山 明	炭化水素の蒸留における微量の硫化エチルの段効率	化学工学協会第13回秋季大会	昭和54年10月
幡 手 泰 雄 近 藤 和 生 ¹¹⁾ 碓 中 塩 文 醇 行 ¹¹⁾	モンテカルロ法による連続式ステレン懸濁重合のシミュレーション	化学工学協会大分大会	昭和54年11月
幡 手 泰 雄 大 村 竹 孝 潤 ¹⁵⁾ 碓 中 塩 文 醇 行 ¹¹⁾ 羽 野 忠 ¹⁵⁾	高粘性下における連続攪伴槽共重合速度	化学工学協会大分大会	昭和54年11月
碓 手 泰 醇 雄	オルダーショー型カラムにおける微量成分の段効率	化学工学論文集第 6 巻第 1 号, pp.23~27	昭和55年 1 月
田 中 安 彦 浦 川 典 智 運 也	噴流層スクラバーによる集塵	昭和54年度粉体工学会秋期研究発表会	昭和54年11月
吉 福 功 美	離散的プロセス問題の解法の表現(寄書)	化学工学論文集第 5 巻第 3 号, pp.310~312	昭和54年 6 月
吉 福 功 美	多重効用併問題 AMG の解法—サブプログラムによる解法の表現	化学工学協会第13回秋季大会	昭和54年10月

14) 九州大学教養部 11) 九州大学工学部 3) 元鹿児島大学大学院工学研究科生 12) 鹿児島大学大学院工学研究科生
15) 大分大学工学部

発表者	題目	雑誌名又は講演会名	発表年月
阿久根 忠博 ³⁾ 金子 志郎 ³⁾ 坂元 渉 ³⁾ 大沼 哲弥 ³⁾	Nb ₃ Ge 超伝導体薄膜について	応用物理学会九州支部講演会	昭和54年11月
金子 志郎 ³⁾ 渡大沼 与彦 ¹²⁾ 大沼 哲弥 ¹²⁾	液体窒素槽内でのマグネトロンスパッタリングによる高純度 Nb 薄膜の製作	応用物理学会九州支部講演会	昭和54年11月
渡大沼 与彦 ¹²⁾ 金子 志郎 ³⁾ 大沼 哲弥 ¹²⁾	強磁性体ターゲットのマグネトロンスパッタリング	応用物理学会九州支部講演会	昭和54年11月
金三 久正 ¹⁶⁾ 三木 成彦 ¹⁶⁾	カルマン・フィルタの画像処理への応用	日経エレクトロニクス No.211, pp.106~130	昭和54年4月
S.Miki ¹⁶⁾ S.Kaneku	Adaptive Schemesto recognize asynchronously generated signal	IEEE Trans. on Communication, vol. COM-27, No.11, pp.1711~1716	昭和54年11月
H.Tanaka ¹⁶⁾ K.Furusawa S.Kaneku	A novel approach to soft decision decoding of threshold decodable codes	IEEE Trans. on Information Theory, vol. IT-26, No2 pp. 244~246	昭和55年3月
山岡 陸夫 ¹⁷⁾ 山下 信治 ¹⁷⁾ 米山 正雄 ¹⁸⁾	対称形MOST非安定マルチバイブレータの解析(第1報)	電気四学会九州支部連合大会	昭和54年10月
山岡 陸夫 ¹⁷⁾ 山下 信治 ¹⁷⁾ 米山 正雄 ¹⁸⁾	対称形MOST非安定マルチバイブレータの解析(第2報)	電気四学会九州支部連合大会	昭和54年10月
山山 陸夫 ¹⁹⁾ 山下 信昭 ¹⁹⁾	マイクロコンピュータによるS-P表の作成	電気四学会九州支部連合大会	昭和54年10月
N.Rsul ¹²⁾ J.Sakai ²⁰⁾ T.Takeishi H.Hirakawa	Application of Interrupted Continuous Oscillator	電気四学会九州支部連合大会	昭和54年10月
平武 川 満亮 ³⁾ 石 広泰 ³⁾	沈降電位発生装置の改良	電気四学会九州支部連合大会	昭和54年10月
平武 川 満亮 ³⁾ 石 広泰 ³⁾	海水の電気的性質を測定するための測定電極と検出増幅器の製作について	昭和54年度文部省特定研究経費研究速報 pp.23~25	昭和55年3月
平武 川 満亮 ³⁾ 石田 広泰 ³⁾ 永他 4名	海水の電気抵抗率および塩分の含有率測定について	昭和54年度文部省特定研究経費研究速報 pp.26~28	昭和55年3月
村島 定行	リーマン面を利用した代用電荷法	電磁界理論研究会資料 EMT-79-28, pp.41~52	昭和54年9月
村島 定行 ²¹⁾ 久原 秀夫 ²¹⁾	リーマン面上のグリーン関数を利用した代用電荷法	昭和54年度情報処理学会第20回全国大会	昭和54年7月
村島 定行	代用電荷法のポアソン方程式への応用	静電気学会誌 Vol.4, 1(1980) pp.38-43	昭和55年2月

3) 元鹿児島大学大学院工学研究科生 12) 鹿児島大学大学院工学研究科生 16) 神戸大学工学部 17) NHK 18) 東海大学工学部 19) 鹿児島県立吹上高等学校 20) 鹿児島大学附属病院 21) 八代工業高等専門学校

発表者	題 目	雑誌名又は講演会名	発表 年月 開 催
河野 後弘 ²²⁾ 近藤 弘道 ²²⁾ 賛村 島定 ²²⁾	無限平板上に誘電体円筒を置いた 針対平板ギャップの電界分布	放電研究会資料 ED-79-64, pp.1-10	昭和54年11月
吉 田 宏	多変数サンプル値追従制御系にお ける速応性の改善	九州大学工学集報 第52巻, 第5号, pp.655~661	昭和54年10月
大吉 橋章男 ²³⁾ 田 中 英和 ²⁴⁾	有限整定法に基づいた離散時間サ ーボ問題における速応性の改善	電気四学会九州支部連合大会	昭和54年10月
大吉 橋章男 ²³⁾ 橋 本 孝義 ¹¹⁾	適応制御方式による恒温槽温度制 御	電気四学会九州支部連合大会	昭和54年10月
大吉 橋章男 ²³⁾ 田 中 英和 ²⁴⁾	有限整定法に基づいた離散時間追 従制御系の速応性の改善	九州大学工学集報 第53巻, 第1号, pp.9~14	昭和55年1月
大吉 橋章男 ²³⁾ 橋 本 孝義 ¹¹⁾	適応制御方式による恒温槽温度制 御	九州大学工学集報 第53巻, 第2号, pp.63~68	昭和55年3月
前 田 明 夫 桜 井 仁 人	東シナ海陸棚縁における短周期流 速・水温変動の測定結果	1979年度日本海洋学会秋季大会	昭和54年10月
前 田 明 夫 桜 井 仁 人	東シナ海陸棚斜面における黒潮の相対 流速断面構造	昭和54年度文部省特定研究「琉球 島孤周辺海域における斜面漁場の 開発利用に関する研究(Ⅱ)」研究 報告書 pp.27~31	昭和55年3月
前 田 明 夫 富 永 英	鹿児島湾口における流動特性と海 水交換	桜島地域学術調査協議会調査研究 報告書 pp.64~72	昭和55年3月
前 田 明 夫	東シナ海陸棚縁における流速の短 周期変動	昭和54年度文部省科学研究費総合 研究(A)「黒潮大蛇行と大冷水塊(そ の消長と予測に関する研究)」研究 報告書 pp.186~196	昭和55年3月
桜 井 仁 人	鹿児島湾口鞍部における流速変動 の特徴—特に短周期変動について	日仏海洋学会誌 Vol.17, No.2, pp.83~90	昭和54年5月
桜 井 仁 人 富 永 英	鹿児島湾口鞍部上の海況	昭和54年度日仏海洋学会学術研究 発表会	昭和54年5月
桜 井 仁 人 前 田 明 夫	鹿児島湾の流速測定及び湾内海水 循環について	1979年度日本海洋学会秋季大会	昭和54年10月
桜 井 仁 人 肥 後 隆 ²⁵⁾	薩南海域における黒潮変動の特徴	昭和54年度文部省科学研究費総合 研究(A)「黒潮大蛇行と大冷水塊 (その消長と予測に関する研究)」 研究報告書 pp.62~71	昭和55年3月
間 庭 愛 信 古 沢 昌彦 ²⁶⁾	いけす用超音波魚数計の概要	日本音響学会昭和54年度春季研究 発表会	昭和54年6月
間 庭 愛 信 古 沢 昌彦 ²⁶⁾	魚群断面のPPI像による体積近似	日本音響学会昭和54年度春季研究 発表会	昭和54年6月
間 庭 愛 信 古 沢 昌彦 ²⁶⁾	超音波魚量計による魚群密度の測 定	昭和55年度電子通信学会総合全国 大会	昭和55年3月

22) 宮崎大学工学部 23) 九州産業大学 24) 三菱電機株式会社 11) 九州大学工学部 25) 鹿児島水産試験場
26) 水産庁水産工学研究所

発 表 者	題 目	雑 誌 名 又 は 講 演 会 名	発 表 開 催 年 月
佐 藤 道 郎	Hydraulic Breakwater の消波機能 (2)	土木学会第34回年次学術講演会	昭和54年10月
佐 藤 道 郎 } 中 字 藤 村 和 郎 } 田 夫 隆 }	長い波に重なった短い波の振幅変化 (第2報)	第26回海岸工学講演会	昭和54年11月
佐 藤 道 郎 } 中 田 村 孝 義 }	砕波帯付近の波浪の現地観測	昭和54年度土木学会西部支部研究発表会	昭和55年2月
山 田 善 一 } 竹 河 宮 和 二 } 野 宏 健 }	多点入力系高架橋の地震応答解析	第15回地震工学研究発表会	昭和54年7月
山 田 善 一 } 河 野 健 二 } 長 弘 二 司 }	多スパン橋の動的相互作用解析	土木学会第34回年次学術講演会	昭和54年10月
山 田 善 一 } 野 健 二 }	Efficiency of the FEM in the Analysis of Dynamic Soil-Structure Interaction	Proceedings of 3rd International Conference in Australia on Finite Element Methods	昭和54年7月
山 田 善 一 } 河 北 野 健 二 } 北 介 二 介 }	有限境界を考慮した基礎-地盤系の動的相互作用解析	土木学会論文報告集 第294号, pp.37~49	昭和55年2月
春 山 元 寿 } 難 波 川 直 彦 } 下 森 悦 郎 } 正 美 }	斜面切取に伴う地すべり性崩壊の土質工学的検討	第16回自然災害科学総合シンポジウム	昭和54年9月
春 山 元 寿 } 谷 山 口 智 子 } 志 智 正 文 }	鹿児島県における死者数及び住居被害数からみた地盤災害の特徴	第16回自然災害科学総合シンポジウム	昭和54年9月
春 山 元 寿	三主応力下にある球粒子集合体の変形・強度特性	土木学会第34回年次学術講演会	昭和54年10月
春 山 元 寿 } 谷 山 口 智 子 }	地山しらすの判別分類のための土壌硬度計の使用について	土質工学会しらす基準化シンポジウム	昭和54年12月
春 山 元 寿	桜島地区土石流等実態調査報告書	水利科学研究所報告書	昭和55年1月
春 山 元 寿	粒状体の変形特性に及ぼす主応力軸変化の影響	昭和54年度土木学会西部支部研究発表会	昭和55年2月
春 山 元 寿 } 宮 内 信 文 }	新期火山灰及びしらすから成る地盤の物理化学的性質	土質工学会論文報告集 Vol.20, No.1	昭和55年3月
北 村 良 介	確率過程を用いた粒状体の力学モデル(3)	第14回土質工学研究発表会	昭和54年6月
北 村 良 介	多軸試験機について	土木学会関西支部年次講演会	昭和54年6月
北 村 良 介	マルコフ過程としての粒状体の変形機構	材料 vol.28, No.311, pp.718~724	昭和54年8月
北 村 良 介	マルコフ過程の粒状体の変形挙動への適用	第23回材料研究連合講演会	昭和54年10月
北 村 良 介 } 足 立 経 尚 }	試作修正三軸装置について	第24回土質工学シンポジウム	昭和54年11月

発表者	題 目	雑誌名又は講演会名	発表 開催 年月
北村良介 } 足立経尚 ³²⁾ }	粒状体の力学現象に対するエネルギー的考察 (3)	土木学会第34回年次学術講演会	昭和54年10月
松本 進	プレキャスト合成床版の押抜きせん断強度について	昭和54年度土木学会西部支部研究発表会	昭和55年 2月
松本 進	塩分を含むコンクリート中の鉄筋および PC 鋼線の発錆に関する実験的研究	昭和54年度土木学会西部支部研究発表会	昭和55年 2月
小原幸三 } 松田辰弘 ³³⁾ }	2H-NbSe ₂ の応力効果	応用物理学会九州支部講演会	昭和54年11月
若原稔 } 皮籠石紀雄 } 末永勝郎 }	多連切欠き材の疲れ挙動について (第1報, 疲れ強さ, 停留き裂におよぼす切欠き数の影響)	日本機械学会九州支部大分地方講演会	昭和54年 5月
田中 豊	横衝撃荷重をうける Timo-Shenko はりの応答計算	日本機械学会九州支部第33期総会講演会	昭和55年 3月
S.Kamata } G.J.Moody ³⁴⁾ } J.D.R.Thomas ³⁴⁾ }	A PVC matrix membrane calcium-selective electrode based on calcium bis-4- (1,1,3,3,-tetramethylbutyl) -2,6,-dinitrophenoxide	Analytica Chimica Acta 108, pp.385~388	昭和54年 7月
鎌田薩男 } H.Freiser ³⁵⁾ }	ジベンゾー18-クラウン-6 によるアルカリ塩抽出における陰イオンの影響	日本分析化学会第28年会	昭和54年10月

33) 鹿児島県立長島高等学校 34) University of Wales Institute of Science and Technology 35) The University of Arizona